

一以貫之

(いちいかんし)

「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

敦賀気比高等学校 第1学年
学年通信 第7号
発行 令和2年10月13日(火)



小才は、縁に出会って縁に気づかず、
中才は、縁に気づいて縁を生かさず、
大才は、袖すり合った縁をも生かす。

高校1学年主任 時岡 隆夫

皆さんの行動を見ていると、多くの人が気比高生としての自覚を持ち、まじめに学習や部活動などに取り組んでいる様子が見え、うれしく思います。

その一方で、まだまだ気持ちが緩んでいて本来の力を発揮できない人もいます。

特に、そうした人に贈りたいのがタイトルで紹介した言葉です。この言葉は、江戸時代・徳川将軍家の剣術指南役として活躍した「柳生家」に伝わる有名な家訓で、「才能が少ない人は、目の前に縁(チャンス)があっても、それに気が付かない」、「才能が中くらいの方は、目の前に縁(チャンス)があることには気づくが、その縁(チャンス)を生かすことが出来ない」、「才能が豊かな人は、ほんのわずかな縁(チャンス)でも見逃すことなく、有効に生かすことができる」という意味です。

私たちは、常に何かに挑戦してわけですが、成功したり失敗したりすると、運が良いとか悪いと言ったり、あの人には才能があるとかないとか言ったりします。

でも、こうした話は運とか才能だけの問題なのでしょう。

この問いは、柳生家の家訓にある「小才」が出会った縁(チャンス)と「大才」が生かした縁(チャンス)は、異なる縁(チャンス)なのかという問いでもあります。どちらも、同じ縁(チャンス)だったのではないのでしょうか。

この問いかけと皆さんの経験から気づいてほしいことは、縁(チャンス)とは、2つの道のいずれかを選択することであり、縁(チャンス)をつかむとは、多くの場合、苦しい道を選択することだということです。そして、失敗を恐れることなく、自らが動いて縁(チャンス)をつかみにいくことが大切なのだということです。

1週間後には中間考査が始まります。勉強が苦手という人も、今何ができるかを考え、できることに全力で取り組んでみましょう。



学習の仕方、教えます (その3)

中間考査を目前にした今月号は、生徒の皆さんからよく聞く、学習の仕方についての3つの悩みに着目し、どのように解決したらいいのかについて考えてみたいと思います。

まず最初の悩みは、「**来週テストまでに覚えてくるようにと言われるが、どうすれば覚えられないかわからない**」というものです。

何かに取り組もうとするときには最低限の知識が必要です。今皆さんが身に付けようとしている知識は、いずれ役に立つときが来ます。こうした知識を身に付けておかないと、そのときになって泣き言が口から出ることになるのです。

こうした状況にならないようにするには知識を身に付けるしかありません。そして、その方法は学年通信の第3号(忘却曲線:6月27日発行)で書いてきましたので、改めて見直しておいてください。



第2の悩みは、「**勉強しなさいと言われるが、具体的にどのような勉強をしたらいいのかわからない**」というものです。

これについては、第5号(学びのなかみの変化:9月1日発行)で触れましたが、**何度も(できれば5回くらい)復習する**事が大事です。このとき注意したいのは、「目で見ただけでは復習とは言わない」ということです。例えば、暗記が中心の教科であるならば、恥ずかしいかも知れませんが**声に出して読む**ことや、面倒くさいと思うかも知れませんが、**試験範囲の教科書やノートを丸写し**することが効果的です。

また、問題集やワークを活用する事も大事です。このようなことを書くと、例えばワークにある穴埋め問題などに、その答えを書いて暗記しようとする人がいます。しかし、これはNG行為です。**試験範囲の問題を全て解いたら、また最初から解き直す**ことをお勧めします。時間はかかりますが、こうして学習しておくことで、問題文章が変わったとしても、同じ内容であれば必ず解くことができるようになります。



最後の悩みは、「**考えればできる問題だと言われても、何をどのように考えればいいのかわからない**」というものです。

こうした状況は、よく数学を勉強しているときに見かけます。

こうしたことを言う人の多くに、「1度解いたことがある問題は2度と解かない」という特徴があります。なぜ、こうした人の多くが考え方に悩むかというと、答を見て、その答を覚えようとしているからです。

効果的に考え方に悩まないようにする学習をしたいと思ったら、**同じ問題であっても、確実に解けるかどうかを確かめる**という意識を持って、何回も解いてみるのが大事です。

このように書くと、「それなら今もやっている。」という人がいると思いますが、考え方がわからないという人がやっているのは「調勉強(しらべん)」だということです。

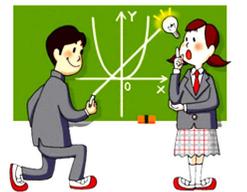
ここでいう「調勉強」とは、本来的には教科書や参考書を調べながら問題を解く勉強のやり方のことですが、授業中に先生が行った解説や答えを見ながら問題を解くことを含みます。

こういう方法でやると、簡単に問題が解けて、なんとなく問題がわかった気になるのですが、いざ試験をしてみると得点につながらないのです。

試験で結果を出したいならば、解くときは何も見ずに解く(何も調べん)ようにすると良いのです。

このようにして問題が解けたなら、考え方がわかったと言うことです。もし解けなかったら、答や解説を見ましょう。そして、見終わったら、何も見ずに最初から問題を解き直してください。これを解けるまでくり返しましょう。

また、**わかったと思ったら、そのことを誰かに教えてあげる**というのも非常に良い方法です。試してみてください。



連絡

中間考査の時間割です。計画的に試験対策をしてください。

	校時	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
20日 (火)	1	世界史	世界史	通常授業 (3限)			通常授業 (3限)	
	2	英表	英表					
	3	数I						
21日 (水)	1	国語総合	国語総合	国語	国語	国語	世界史	世界史
	2	物・地	物・地	化学	化学	化学	コミ英	コミ英
	3		数II	コミ英	コミ英	コミ英		
22日 (木)	1	化学	化学	数A・中会・英表	数A・中会・英表	数A・中会・英表	化学	化学
	2	コミ英	コミ英	英表	英表	英表	国語	国語
	3	数A	数B	中国語・テッサン	中国語・テッサン	中国語・テッサン		
23日 (金)	1	生物	生物	世界史	世界史	世界史	総・工・経	総・工・経
	2	日本史	日本史	数I	数I	数I	数I	数I
	3	NIE講習会 (保健委員会)						



試験で結果が出るかでないかは、どのように学習に取り組んだかの差ですが、それはちょっとした違いによるものです。

違いがわかる学習に取り組み、良い結果を残しましょう。